



【オプジーボ+カルボプラチン+ペメトレキセド療法について】



様

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目		
薬の名前	作用	めやすの時間																								
パンビタン	葉酸を含む 総合ビタミンです	1日1回 内服																								
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	朝 内服																								
グラニセトロン注 デキサート注	吐き気止めです	30分																								
オプジーボ注	抗がん剤です	30分																								
ペメトレキセド注	抗がん剤です	10分																								
カルボプラチン注	抗がん剤です	1時間																								
※ ペメトレキセド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコバルール(ビタミンB12)の注射を行います。																										

※ ペメトレキセド注による副作用軽減のため、パニビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気																						
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	皮疹																						
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
	手足のしびれ																						
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
検査値	白血球減少																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少																						
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
腎機能低下																							
		顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																					
	肝機能低下																						
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																					

*オプジーボの副作用については別紙を用いて説明します。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。

広島市民病院薬剤部